

行橋市立延永小学校学校通信  
(2018年・平成30年度)

延小だより No.10

September 9月3日 発行

【学校目標】  
豊かな心を育み、自ら学び、たくましく生きる子どもの育成

《校訓》 勤 勉

◇ めざす子ども ◇

- ☆ 思いやりの心を持ち、素直で明るい子ども
- ☆ 自ら意欲的に学び、すすんで汗をかく子ども
- ☆ 地域に愛される元気な子ども

## スイッチを上手に切り替えて

長い夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が延永学校に戻ってきました。酷暑だった今年、全国各地で児童生徒の「命」にかかわる、多くの事故や事件がおきました。幸い延永小学校の子どもたちはこうした大きな事故や事件に巻き込まれることなく、無事に過ごせたことをうれしく思います。

さて、夏休みの間、生活が不規則になっている子どもがいます。新聞等によれば、夏休みが終わってしばらくの間、規則正しい生活に戻すのに時間がかかり、心が不安定になる子どもも多いと指摘されています。これまでOFFになっていたスイッチを上手にONに切り替え、学校生活をスタートさせましょう。保護者の皆様、ご協力をお願いします。



## 延永小学校 平和集会（8月6日（月））について

8月6日（月）に「平和について考える全校集会」を行いました。まず人権教育担当の前田純子先生から、集会の目的や「戦争の恐ろしさや平和の大切さ」についての話があり、教師（玉江桂子先生 村上輝樹先生 前田誠司先生）による布芝居「伸ちゃんの大冒険」を上演しました。その後6年生の平和集会実行委員が「平和宣言」を読み上げ、全校で、広島を題材にした「青い空は」を合唱し、集会を終えました。集会後はそれぞれの学年で平和学習を行いました。子どもたちは戦争の恐ろしさについてはもちろんのこと、「平和」「命」「人権」の大切さを自分のこととして学ぶことができました。

\*裏に平和集会のしおりを掲載しています。



## 【5年生】社会見学

### 環境ミュージアム・ニッサン九州工場に行ってきました！！



【環境ミュージアムでの見学・学習の様子】



【ニッサン九州工場での見学・学習の様子】

## 福岡県PTA 連合会 家庭教育支援事業

### 「新家庭教育宣言」(早寝・家庭学習等)の取り組みにご協力をお願いします。

子どもたちの基本的な生活習慣の確立と家庭教育の充実を図るために、9月3日(月)～9月7日(金)の期間に「時間を決めて家庭学習をする」「家庭学習を家の人に見てもらおう」「夜は決められた時間に寝る」など、親子で話し合い、目標を決め、親子で挑戦する「新家庭教育宣言」に取り組みます。この取り組みを通して、子どもたちの自主性、家庭でのコミュニケーション力を育成しようと考えています。記録用紙を学校から配布いたしますので、ご協力をお願いします。

## お知らせ

### 9月28日(金)は、学習参観と教育講演会があります。

教育講演会では、岩手県花巻市教育委員会指導主事 齋藤 真先生をお招きし、「東日本大震災～あの日を知り、これまでを想い、これからを考える～」と題し、ご講演いただく予定です。齋藤 真先生は、平成23年3月11日、釜石東中学校勤務時に被災。当時、生徒指導部長とし、子どもたちとともに避難。津波から生き延び、「釜石の奇跡」として語り継がれています。

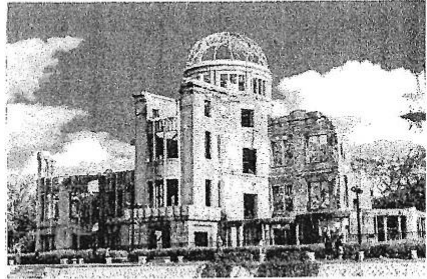
たくさんの保護者の皆様の参加をお願いいたします。

プログラム

1. はじめのことば
2. 平和について
3. 先生の話
4. 布芝居「伸ちゃんの三輪車」
5. 黙祷
6. 延永小学校平和宣言
7. 全校合唱「青い空は」
8. 校長先生の話
9. おわりのことば

司会進行：6年生 平和集会実行委員

のぶながしょうがっこう  
延永小学校  
へいわしゅうがくかい  
平和集会



ねん ぐみ ばん  
年 組 番  
なまえ ( )  
名前 ( )

のぶながしょうがっこう へいわせんげん  
延永小学校 平和宣言

8がつ6にち ひろしまげんくわひ  
8月6日は「ヒロシマ原爆の日」です。

73ねんまえ ひ せかい はじめて げんしほくだん おとされました  
73年前のこの日、世界で初めて、原子爆弾が落とされました。

8がつ9にち な が さ き げんしほくだん おとされ おおく いのち  
8月9日には、ナガサキにも原子爆弾が落とされ、多くのとうとい命がうばわれました。

にほん せんそう 73ねんまえ おわりました いま せかい せんそう あらせい  
日本での戦争は73年前に終わりましたが、今も、世界のいろいろなところで戦争や争いがおきています。

そして、わたしたちと同じような子どもたちをはじめ、多くの人が犠牲になっています。

じんけん  
人権とは、わたしたちが生まれながらにもっている、だれもが幸せに生きる権利です。

せんそう じんけん  
戦争は、この人権をうばってしまう一番おそろしいものです。

せんそう  
戦争をおこさないために、私たちは何ができるかを考えます。

わたしたち まいにち せいかつ なか かんがえて  
まず、私たちの毎日の生活の中で考えてみましょう。

「けんか」や「いじめ」、「自分勝手」をしている人はいませんか？

「けんか」や「いじめ」、「自分勝手」をずっと続けていたら、

それがやめられず大きくなり、戦争につながっていくかもしれません。

また、戦争と平和について知り、考えることが大切です。

そして、自分の考えたことを、しっかりと自分の言葉で伝えていくことから始めましょう。

ひとり ちいさなちから  
一人ひとは小さな力でも、みんなが集まれば、大きな力になります。

わたしたち ひとり へいわ みらい ますいて じんごう  
私たち、一人ひとりが平和な未来を築いていく主人公なのです。

ただと せんそう へいわ みらい ますいて どりやく つづけて はじめましよう  
ここに、二度と戦争をおこさず、平和な未来を築いていくための努力を続けていくことを誓います。

2018ねん 8がつ8にち のぶながしょうがっこう  
2018年 8月6日 延永小学校

# 被爆者の思い 私たちが学んで伝える

「平和への誓い」全文

平和記念式典で「平和への誓い」を宣誓する米広島婦若(左)と新開美織さん  
11日午前、広島市の平和記念公園



人間は、美しいものをつくること  
ができます。  
人々を助け、笑顔にすることが  
できます。  
しかし、恐ろしいものをつくっ  
てしまうのも人間です。  
昭和20年(1945年)8月6  
日 午前8時15分。  
原子爆弾の投下によって、街は  
焼け、たくさんの方が奪われま  
した。  
「助けて」と、泣き叫びながら  
倒れている子ども。  
「うちの息子はどこ」と、捜し  
続けるお父さんやお母さん。  
「骨をもいでください」と頼む  
人は、皮膚が垂れ下がり、腕の  
肉がない姿でした。  
広島は、赤と黒だけの世界にな  
ったのです。  
73年がたち、私たちに残された  
のは、  
血がべったりついた少女のワン  
ピース、焼けた壁に記された伝  
言。  
そして今もお、遺骨のないお  
墓の前で静かに手を合わせる  
人。  
広島に残る遺骨に思いを寄せ、  
今でも苦しみ続ける人々の話に

耳を傾け、  
今、私たちは、強く平和を願  
います。  
平和とは、自然に笑顔になれる  
こと。  
平和とは、人も自分も幸せであ  
ること。  
平和とは、夢や希望をもてる未  
来があること。  
苦しみや憎しみを乗り越え、平  
和な未来をつくること。懸命に生  
きてきた広島の人々。  
その平和への思いをつないでい  
く私たち。  
平和をつくることは、難しいこ  
とではありません。  
私たちは無力ではないのです。  
平和への思いを折り鶴に込め  
て、世界の人々へ届けます。  
73年前の事実を、被爆者の思い  
を、  
私たちが学んで心に感したこ  
とを、伝える伝承者になります。

平成30年(2018年)8月6日  
子ども代表  
新開美織  
米広優陽

広島市立五年田小学校6年  
広島市立五日市東小学校6年

(平成30年8月7日 西日本新聞朝刊より)